



## タイ語と日本語の 文末詞についての対照研究

第4回国際日本学コンソーシアム  
お茶の水女子大学大学院博士後期課程  
イソ・アパコーン



## はじめに

タイ語の「**文末詞**」と日本語の「**終助詞**」の比較を行う。  
⇒タイ語の文末詞と日本語の終助詞は**似ている**と言われている。  
<文末詞の種類>  
สิ「si」 นะ「na」 ละ「la」  
หรือ「rok」 ครับ「khrab」 นะ「kha」



## 文末詞について

文末詞とは、**伝達**の効果に関係ある要素を持つ文の部分のことである。  
伝達の効果とは

- ◆ 陳述内容の強調
- ◆ 話し手の態度を表す
- ◆ 話し手の話す内容への判断を表す
- ◆ 話し手の性別
- ◆ 話し手と聞き手の上下関係、親疎関係を表す



## 文末詞の例

A : thaan khaaw duaikan si khrab  
食べる ご飯 一緒 (文末詞)(文末詞)  
一緒にご飯を食べましょう。

B : phom im leew khrab  
私(男性) お腹がいっぱい(完了)(文末詞)  
私はもうお腹がいっぱいです。



## 終助詞について

終助詞

- ◆ 話し手との関わり合いを示すもの
- ◆ 話し手の話の内容への判断なども表す

現代語の終助詞  
「な(禁止)・な(感動)・か・とも・よ・ね・さ・ぜ・ぞ」など

⇒文末詞と終助詞には**類似性**がある。  
(完全に一致するわけではない)



## 先行研究

- ◆ 日タイ対照研究  
田中寛『統語構造を中心とした日本語とタイ語の対照研究』  
松井嘉和「日本語とタイ語」
- ◆ 文末詞と終助詞の対照研究  
高橋清子「タイ語と日本語—<si>,<na>と<よ><ね>の対照研究—」
- ◆ 発表者も修士論文において、文末詞「na」に対応している終助詞「kha」と「わ」の対照/タイ語に殆ど訳されない終助詞を研究

### 本発表の目的

1. 「na」がどのような日本語に対応するのか明らかにすること
2. それによって「na」の性格をより明らかにすること

今回はタイ語作品が日本語に翻訳された文章を材料に、特に「na」と「ね」に着目して調査・分析する。

### 分析方法

- 資料: 日本語に翻訳されたタイ語の小説作品
- 方法: タイ語版から、文末詞「na」のある文を抽出し、日本語版の同じ文と比較
- 作品: 1. 『Khaui Chwui Kaan』Suwanni(1970)  
⇒日本語版『その名はカーン』(岩城雄次郎訳1988)  
2. 『Luk Isan』Khamphoon Boontawee(1976)  
⇒『東北のタイの子』(星野龍夫訳1980)
- 例文数: タイ語73例、日本語73例(計146例)

### 例文のペアを例示

(場面: 6歳の息子のクーンが、大きくなったら父親と狩猟に行きたいと伝えた)

too khwn haai phom pai duai na poo  
 大きくなる (使役) 僕 行く 一緒に (文末辞) 父  
 僕が大きくなったら一緒に行かせてね、父さん

このような例文のペアに基づき、「na」の付いた文と訳文の終助詞の使用を比較し、「na」の性格を分析する。

### データ

73例中、訳文で頻用された終助詞  
 「ね」31.50%(23例)・「よ」27.39%(20文)

終助詞の割合

「ぞ」	8.21%(6文)
「わ」	6.84%(5文)
終助詞の共起	4.1%(3文)
「な」	4.1%(3文)
「ぜ」	1.36%(1文)
その他	16.43%(12文)

### 分析

「na」と「よ」「ね」の対応  
 数字的にほぼ同じ  
 「na」は「よ」「ね」の両方の性格を持っている。

「na」の性格と「よ」「ね」の対応を見出すために、例文を文の種類によって分類を試みた。  
 分け方の基準: 文の意味と聞き手に対する話し手の態度  
 ⇒8種類の分類を見出した。

### 例文の8種類の分類

1. 述べ立て文: 相手に情報を伝える文
2. 感動文: 感動や驚きを表す述べ立て文
3. 反論文: 相手の意見に反対したり、相手の考えることを正す文
4. 疑問文: 疑問や質問を表す文
5. 命令文: 相手に自分の望む行動をさせるための文
6. 禁止文: 相手に何かをさせないようにする文
7. 依頼文: 話し手の希望などを聞き手にもちかける文
8. 勧誘文: 相手を誘い、自分の行動に参加させるための文

### 終助詞の使用回数

	述立	感動	反論	疑問	命令	禁止	依頼	勧誘	計
ね	2	7	0	1	5	1	6	1	23
よ	5	0	4	0	2	4	0	5	20
ぞ	1	1	0	0	2	2	0	0	6
わ	2	0	0	0	0	2	1	0	5
な	0	3	0	0	0	0	0	0	3
ぜ	1	0	0	0	0	0	0	0	1
共起	0	0	2	1	0	0	0	0	3
他	6	0	0	5	1	0	0	0	12
文の数	17	11	6	7	10	9	7	6	73

13

### まとめ

- 主に「ね」と「よ」に訳されていたが、その他の訳し分けが多彩になされていたことが分かった
- 訳文から見た「na」の性格  
 「ね」⇒感動、命令、依頼  
 「よ」⇒反論、禁止、勧誘、  
 その他、モダリティ的な性格も有することが分かった

14